

平成29年度 たきざわ幸福実感アンケート調査に関する自由意見への回答について(平成29年12月末時点)

部 名	市民環境部	課 名	地域づくり推進課
件 名	地域の交流について		
状 況 等	<p>地域の交流は、日常生活をする上で人と人とのつながりを広げるために必要なものであり、地域の交流によりみんなが幸せに暮らすための地域づくりが実現するものと考えています。一方で、世代や考え方が違う様々な人と交流することにより、その接し方に苦勞し、悩まれている方も多くおられると思います。</p> <p>地域づくり活動については、市の担当部署の職員も積極的に参加し、地域内の方々も参加しやすい雰囲気づくりが大切であると考えます。</p>		
件 名	地域づくり活動及び自治会活動のあり方について		
状 況 等	<p>地域づくり活動及び自治会活動は、地域コミュニティ形成の基礎となるのもであり、地域が主体となり様々な活動に取り組んでいただいています。地域ごとの特殊性により全ての地域が同じ取り組みをしているものではありませんが、それぞれの取り組みは、滝沢市がめざす「幸福感を育む環境づくり」の実現に向けた行動であり、市といたしましても多くの活動に職員が参加するなど、よりよい地域づくりの推進のための支援をしております。</p> <p>市民のみなさまにおいては、自治会活動などを負担に感じることもあると思いますが、可能な範囲で少しずつでもご参加いただき、誰でも参加しやすい雰囲気をみんなで作り上げていくことが大切であると考えます。</p>		
件 名	地域の公民館や集会所のあり方について		
状 況 等	<p>集会所の新設については、集会所を利用する地域の皆さんにもご負担いただき、市の補助金制度等を活用して行うこととなりますが、用地の問題や市の予算の関係もありますので、現時点では、すぐに対応をできないのが現状です。集会所は、地域活動の拠点であり、重要な施設であると考えますが、集会所の新設は、市内全域において、地域における課題の整理や地域の合意形成の下の資金状況や市の予算状況を考慮しながら、優先順位をつけての対応となります。</p>		
件 名	ビッグルーフ滝沢の管理・運営について		
状 況 等	<p>ビッグルーフ滝沢は生きがい、発見、創造を目的として平成28年12月に開館しましたが、管理・運営については、サービスの質の向上、メンテナンスや舞台運営等のノウハウ、ランニングコストの軽減など民間企業の経営力を活用するため、指定管理者制度を採用しております。</p> <p>指定管理者制度の活用により、この1年間で40種類に及ぶ自主事業講座の実施や民間企業、サークル、NPO等団体の皆様によるイベントも多く実施されており、少しずつではありますが、賑わいの創出へ向けて動き出しております。</p> <p>産直については、新しい施設ということもあり、地元の農産物の出荷量や種類は他の産直と比較すると充実への途中ではありますが、今後も生産者の皆さんと連携を図って、地元の安全・安心で美味しい食材が集まる施設を目指し、また、民間企業のネットワークを活かし、全国に市の特産品をPRし出荷していく仕組みを構築していきます。</p> <p>レストランも同様に滝沢の食材を活用し、季節毎に新しいメニュー作りを進めております。幅広いお客様に安心で喜ばれるよう、無添加にこだわったメニューや郷土食など地域の特性を活かしたメニュー開発を今後も進めていきます。</p> <p>ビッグルーフ滝沢はまだ開館して1年ですが、コンセプトの「みんなでつくるふれあいの大屋根」のもと、市民の皆さんの手で創り上げていく事を目指しています。</p> <p>これまでも、利用された方のご意見がきっかけとなり行われた講座や取り組みが多くあり、皆さんの声と皆さんの手によってより良い施設に成長させていけるよう、努めていきます。</p>		

平成29年度 たきざわ幸福実感アンケート調査に関する自由意見への回答について(平成29年12月末時点)

部 名	市民環境部	課 名	防災防犯課
件 名	防災対策について		
状 況 等	<p>市内に発生する災害としては、地震、風水害及び岩手山の噴火を想定しており、危険箇所等の防災情報については、市民の皆さんへ防災マップの配布をはじめ、広報誌による防災特集号の掲載や、市ホームページ等により周知しております。</p> <p>また、平成29年度は市中部地区を対象に、水害や土砂災害を想定した市主催の総合防災訓練を実施したほか、各自主防災組織でも、避難訓練や初期消火訓練等の防災訓練を実施していただいております。地域防災力の向上に努めております。避難所については、市で指定している避難所としてビッグループ滝沢が追加されたほか、自主防災組織で指定している避難所があります。今後も、避難所については随時、追加や見直しを実施してまいります。</p>		
件 名	防災行政無線について		
状 況 等	<p>防災行政無線につきましては、高い、低い、聞こえにくい等、様々なご意見をいただいております。その都度対応しておりますが、非常に難しく、苦慮しているところです。</p> <p>市では、放送が聞こえにくい、聞き逃した等を解消するため、放送内容を市ホームページでの掲載、電話応答サービスによる対応、いわてモバイルメールでの配信を行っております。</p> <p>特にも近年では、携帯電話をお持ちの方も増えてきておりますので、いわてモバイルメールに一度ご登録していただくだけで、随時情報がお手元に届く、大変便利なものとなっておりますので、ぜひご活用していただければと思います。</p>		
件 名	交通安全施設(信号機、横断歩道など)及び交番新設等の設置要望について		
状 況 等	<p>信号機、横断歩道の設置及び交差点の改善や交通規制につきましては、各自治会及び学校からの要望を取りまとめ、所管の警察署を通じて公安委員会に毎年要望書を提出しております。しかしながら、信号機等の設置につきましては、設置に至る基準の範囲内であるか、交通量や事故の発生状況、設置の効果や緊急性等から判断し、より必要性の高いものから実施することとなっておりますので、複数年にわたる要望であっても、実現が難しい場合があります。また、交番の新設につきましても、昼夜の人口や世帯数、面積、事件や事故の発生状況等から判断することとなっております。</p> <p>カーブミラーや赤色回転灯など、市で管理している施設につきましては、予算の範囲内ではありますが、必要性に応じて設置、修繕等進めてまいります。</p>		
件 名	防犯灯の設置要望について		
状 況 等	<p>防犯灯の設置要望につきましては、各自治会より、毎年設置要望を提出していただいております。これらの要望を受け、各自治会の状況に応じて、毎年10箇所程度の整備を進めており、市内全体で約5,600箇所を設置しているところです。今後とも、優先順位を定めながら設置を推進してまいります。</p> <p>また、管理につきましても、各自治会から修理、交換要望を受け、予算の範囲内で故障箇所の修理を進めております。今後も環境負荷軽減と省エネの観点から、防犯灯のLED化を推進してまいります。</p>		
件 名	交通安全対策について		
状 況 等	<p>交通ルール(スピードの出しすぎ、迷惑駐車等)の指導につきましては、市内交通安全関係団体及び交番、駐在所と連携し、交通安全意識の高揚と交通マナーの向上を図るとともに、違法情報につきましては、速やかに警察に通報のうえ、情報を共有し交通安全対策を推進してまいります。</p>		
件 名	防犯対策、安心して暮らせるまちづくりについて		
状 況 等	<p>子どもの見守り活動や特殊詐欺等に対する各種防犯活動につきましては、市内防犯関係団体や少年補導員、各自治会防犯部と連携しながら、見守りパトロール活動や啓発活動を行っているほか、交番、駐在所に対して、不審者情報等を速やかに発信し、巡回の依頼等を行っております。</p> <p>また、警察から、市及び周辺地域での犯罪情報の提供を受け、防災無線による広報を実施する等、盛岡西警察署と緊密な連携体制のもと、市民が安心して暮らせるまちづくりを推進してまいります。</p>		

平成29年度 たきざわ幸福実感アンケート調査に関する自由意見への回答について(平成29年12月末時点)

部 名	市民環境部	課 名	環境課
件 名	自然環境の保全について		
状 況 等	<p>市では、市内6河川9カ所から年2回河川水を採取し、水質検査を行っております。</p> <p>また、大気汚染状況については、県で測定を行っており、結果についてはそれぞれホームページで公表しております。</p> <p>豊かな自然環境は、滝沢市にとって貴重な財産の一つですので、今後も保全にむけて努力してまいります。</p>		
件 名	犬のフン害について		
状 況 等	<p>ペットは生活に潤いを与え、気持ちの安らぎをもたらす家族の一員とみなされたりしています。一方で、ペット飼育者のマナーが十分でなく、周囲に様々な迷惑を与えていることも事実です。犬・猫等のペットが大好きな人もいれば、そうでない人もおり、動物を飼うことのマナーについて考えていくことが不可欠であると考えています。</p> <p>市では、広報誌やホームページへの掲載、自治会を通した立て看板の設置、犬の飼い方教室の開催等を通じて、ペットを飼うことのモラル、マナー向上を呼び掛け、周知に努めています。</p>		
件 名	共同墓地について		
状 況 等	<p>宗派を問わず利用できることから、公営墓地を希望される方が増えてきていますが、墓地造成や維持管理には多額の費用が必要となります。市内には、お寺が管理している墓地に、宗派を問わず使用できる墓地が相当数あることから、市営墓地の整備は検討しておりません。</p>		
件 名	自然保護活動について		
状 況 等	<p>市では、環境パートナー会議を設置し、自然保護に関する活動などを行っており、今年度は自然観察会や特定外来生物種の駆除活動など18回行いました。</p> <p>その活動内容につきましては、市ホームページへの掲載や、環境フォーラムでのパネル展示等で周知を図っておりますが、今後も様々な機会を捉えて周知に努めてまいります。</p>		
件 名	ごみ袋の有料化について		
状 況 等	<p>市では、平成41年度からの県央8市町でのごみ処理広域化を見据えて、家庭ごみ減量化の方策の一つとして、ごみ袋有料化の導入を検討してまいりました。</p> <p>これまで、ワークショップや市政懇談会を開催し、多くの市民の皆様からたくさんのご意見をいただいております。</p> <p>また、市民3,000人を対象にアンケートを実施しており、これらの内容を踏まえて、平成30年1月を目処に判断することとしております。</p>		
件 名	ごみ集積所(ごみ捨て場)について		
状 況 等	<p>市内のごみ集積所は、設置場所、利用世帯数などを各自治会で協議したうえで設置しておりますので、集積所の新設・移動等につきましては、自治会内でご相談いただくようお願いいたします。</p>		

平成29年度 たきざわ幸福実感アンケート調査に関する自由意見への回答について(平成29年12月末時点)

部 名	市民環境部	課 名	市民課
-----	-------	-----	-----

件 名	窓口で諸証明の申請が早くなったが、初めての利用者のために番号札の案内が必要ではないか。
状況等	初めていらした方の場合、番号札発行機の前で、躊躇している様子が見受けられることから、気が付いた時には、案内するよう心がけております。なお、窓口の混雑などによりご不便をおかけすることもあります。窓口の状況を見定めて、スムーズな窓口での案内ができるよう心がけて参ります。

件 名	証明書2部発行するために用紙・インク等の実費が2倍はわかるが、2倍の手数料とはどういうことか。
状況等	証明書等の手数料については、1件の証明を行うに当たり金額が定められております。また、手数料の大半については、システムを利用している現状では、用紙代やプリンタの維持管理費、また、証明内容を調整するシステム費の一部などに充てられており、人件費を中心としてお支払いいただいているものではありません。なお、戸籍謄本などの一部の証明書については、法令で定められ、その他についても条例による金額として、証明書を必要とされる方々の公平な負担を原則として定めております。

部 名	市民環境部	課 名	東部出張所・葉の木沢山活動センター
-----	-------	-----	-------------------

件 名	出張所も対応が悪く感じる。
状況等	東部出張所に出向いた市民の皆様へ適切な対応ができるよう、今後も各種情報の共有や職員研修等に参加し、よりよい窓口対応に取り組んでまいります。

平成29年度 たきざわ幸福実感アンケート調査に関する自由意見への回答について(平成29年12月末時点)

<b>部 名</b>	健康福祉部	<b>課 名</b>	地域福祉課
------------	-------	------------	-------

<b>件 名</b>	精神障がい者です。年金をいただいています。中学生の息子も障がいです。市役所の対応はとても親切で感謝しています。市のおかげで生きていけると思っています。本当に感謝しています。
------------	--

<b>状況等</b>	今後とも感謝していただけるようより親切に対応して参りたいと考えております。
------------	---------------------------------------

<b>件 名</b>	ヘルプマークを配布してほしい。
------------	-----------------

<b>状況等</b>	滝沢市では、岩手県内で周知が進められている「おねがいカード」など「ヘルプマーク」と同じ趣旨の「障がい者に関するマーク」の取り組みを行っているところです。しかしながら、今後、支援が必要な人への対応として「ヘルプマーク」など他のマークについても検討をしていきたいと考えています。
------------	---

<b>部 名</b>	健康福祉部	<b>課 名</b>	生活福祉課
------------	-------	------------	-------

<b>件 名</b>	受給する年金のみでは、生活ができないのではないかとの不安について
------------	----------------------------------

<b>状況等</b>	滝沢市社会福祉協議会で実施している自立相談支援事業では、経済的困窮による生活苦等についての相談受付や支援を行っておりますのでお困りの際はご利用ください。
------------	--

<b>部 名</b>	健康福祉部	<b>課 名</b>	児童福祉課
------------	-------	------------	-------

<b>件 名</b>	保育施設の不足、保育所待機児童の解消について
------------	------------------------

<b>状況等</b>	平成27年度にスタートした「子ども・子育て支援新制度」に併せて、「滝沢市子ども子育て支援事業計画」を策定し、計画推進に取り組んでいるところであります。しかしながら、保育所入所要件の緩和や宅地開発、加えてこの2年でもニーズの変化があり、幼児期の保育の確保については計画とのずれが生じています。平成29年度にはこの計画の中間評価を実施し、確保の方策の見直しを協議しながら、待機児童の解消に努めてまいります。
------------	---

<b>件 名</b>	放課後児童クラブの整備、利用料金について
------------	----------------------

<b>状況等</b>	放課後児童クラブの整備については、滝沢中央小学校の開設に伴い学区内に新設学童を計画しているところでありますが、その他については就学児童数や利用状況の把握に努め、学区内の放課後児童クラブ間で調整を図りながら、必要に応じて整備を検討してまいります。また、放課後児童クラブの保育料については、それぞれの父母会や運営法人がクラブの実情に応じて決定しております。各クラブは、国、県及び市の負担による委託料と保護者からの保育料によって運営されておりますので、保育料の負担についてご理解をお願いいたします。
------------	--

<b>件 名</b>	ひとり親への支援について
------------	--------------

<b>状況等</b>	ひとり親家庭への支援は、国においても児童扶養手当の児童数に応じた加算額の見直し、保育料等の軽減の拡大等により充実が図られてきております。また、市においては母子父子自立支援員を設置し、各種相談に応じておりますので、さらに周知に努めてまいります。
------------	---

<b>件 名</b>	子育て支援の充実について
------------	--------------

<b>状況等</b>	核家族化の進行、就労環境の変化等、子どもと家庭を取り巻く環境の変化により、子育てを社会全体で支援していく必要性が認識されるようになり、国においては、「子ども・子育て関連3法」を制定し、平成27年度に「子ども・子育て支援新制度」をスタートさせました。市においても、平成27年度から平成31年度までの「滝沢市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、安心して産み育て、働くことができる環境の整備に取り組んでいるところです。子育て支援策は、この計画に基づき、充実にも努めてまいります。
------------	---

<b>件 名</b>	子どもの遊び場について
------------	-------------

<b>状況等</b>	既存施設の滝沢総合公園にはアスレチック、ビッグループ滝沢にはキッズルーム等があり、自由に利用ができます。この他、就学前の児童が対象とはなりますが、市内4か所の保育園に設置している地域子育て支援センターやふるさと交流館において開設するわんぱく広場(日時限定)等により遊び場を提供し、併せて子育ての情報の提供や育児相談、同年代のお子さんを持つ親同士の交流を支援しておりますので、利用について、さらに周知を図ってまいります。
------------	---

平成29年度 たきざわ幸福実感アンケート調査に関する自由意見への回答について(平成29年12月末時点)

部 名	健康福祉部	課 名	高齢者支援課
-----	-------	-----	--------

件 名	高齢者等の移動手手段について
状 況 等	市では、すべての市民が利用することができる「福祉バス」を運行し、睦大学に通う高齢者の方々を中心とした利用がありますが、利便性が高い運行経路・運行時間ではないとのご指摘を受けておりますので、今後は滝沢市地域公共交通網形成計画に定める施策を展開し、公共交通の利用を促進して維持するとともに、高齢者や免許返納者などの交通弱者への支援やより効率的で利用しやすい公共交通ネットワークの再編など市全体の持続可能な公共交通のあり方について、公共交通、まちづくり、観光等とも連携を図りながら検討して参ります。

件 名	旧「お山の湯」について
状 況 等	旧「お山の湯」は、すべての市民の健康増進を目的として平成8年に直営で運営を開始し、多くの皆さまにご利用いただきましたが、効率的な施設運営は困難な状況となり、平成28年12月をもって施設を廃止しました。 市では、直営での施設運営を再開する予定はなく、建物等の利用については、用途を問わず民間企業の活用など継続して検討しておりますのでご理解をお願いいたします。

件 名	高齢者施設の整備について
状 況 等	特別養護老人ホームなどの入所施設の整備については、介護保険サービス利用量の見込みや介護保険料を見据えて検討しており、特別養護老人ホームの入所待機者数等をふまえて、平成30年度から平成32年度までの間に整備する計画はない予定となっております。 なお、施設の整備等については、介護保険制度で3年毎に策定される計画のなかで検討されることとなっておりますので、平成33年度以降については未定となっております。

部 名	健康福祉部	課 名	地域包括支援センター
-----	-------	-----	------------

件 名	高齢者独居世帯の定期的な地域での見守りについて
状 況 等	地域包括支援センターでは高齢者独居世帯の方々の見守り等を定期的に行っているところですが、見守り活動はお互い顔を知っている人同士で日常的に行われる方がより効果的であることから、家族や近隣住民、自治会や地区の民生委員、老人クラブなど、地域が主体となった取組みが活発になるよう支援してまいります。

件 名	高齢者世帯の把握と巡回、傾聴について
状 況 等	滝沢市でも高齢者のみの世帯は年々増えているところですが、地域包括支援センターでは、65歳以上の高齢者世帯や独居高齢者世帯の方々について、定期的に訪問して健康状態や生活状況の把握や相談等を行っており、必要に応じて専門的なサービス等につなげるなどして、高齢者の自立支援を図っています。

件 名	介護予防のための無料の施設建設について
状 況 等	体育施設での運動により身体機能を向上させることは介護予防に非常に有効ですが、そのために新たな施設を建設することは介護保険料の増額につながる可能性もあることから、既存の施設やいきいきサロン等の取組みを活用していただきたいと考えております。 なお、高齢者健康増進施設「はつらつ元気館」では介護予防のための教室を無料で実施しておりますが、教室修了後の利用につきましては一定の使用料をいただいているところであります。

件 名	認知症の本人や家族の支援について
状 況 等	認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、市では様々な施策に取り組んでいます。 認知症の人や家族が気軽に相談や交流ができるよう、まちかど相談室や認知症カフェ等の設置について関係機関とともに取り組み、地域で支えるための認知症サポーターの養成や、認知症の人やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」の設置などの支援体制を進めております。さらに、症状の進行に合わせた支援内容をまとめた認知症ケアパスを作成し、その普及を進めています。今後も適切な支援策の検討を図ってまいります。

平成29年度 たきざわ幸福実感アンケート調査に関する自由意見への回答について(平成29年12月末時点)

部 名	健康福祉部	課 名	健康推進課
件 名	健康診断も土日をお願いしたい。		
状 況 等	健康診査については、医療機関での個別健診となっており、健診の受付時間については、医療機関ごとに設定していただいております。現在日曜日に健診を実施している医療機関はありませんが、土曜日については、半数以上の医療機関で実施しております。また、40歳以上の国民健康保険被保険者を対象とした特定健康診査については、毎年12月に、岩手県予防医学協会において日曜日に集団検診を実施しております。		
件 名	健診の個人負担があることが不満です。知り合いの一戸町の方は婦人健診もすべて毎年あって無料なそうです。それも滝沢は2年に1回とは・・・毎年でも心配なのに考えられないです。一戸に引っ越したいと思いました。		
状 況 等	<p>現在、血液検査などの項目を含む健康診査については、無料で実施していますが、がん検診については、自己負担を徴収しております。がん検診の自己負担料金については、実際にかかる料金の3割を目安に設定しており、70歳以上の方や低所得者の方は無料となっております。</p> <p>また、滝沢市のがん検診は、「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針(厚生労働省健康局通知別添)」に基づき実施しております。この中で子宮頸がん検診、乳がん検診については、科学的根拠に基づくがん検診の実施方法として、原則として同一人について2年に1回行うこととされております。</p> <p>今後も、最新の知見である国の指針に基づき、がん検診の普及啓発に努めるとともに、有効性のあるがん検診の実施に向けて取り組んでまいりたいと考えております。</p> <p>※市で実施する婦人病検診は2年に1回となっておりますが、その他、40歳以上の希望者には人間ドックの料金の一部助成を行っており、生活習慣病予防健診や各種がん検診を組み合わせることで実施することが可能です(医療機関等で婦人病検診のみを受診する場合は、全額自己負担になります)</p>		
件 名	滝沢市は医療関係が貧しいので、もっと数が増えるようにしてほしい。特に婦人科個人病院は少ない！！		
状 況 等	<p>滝沢市内には、2つの病院と19の診療所、21の歯科診療所があります。診療科も内科、外科、整形外科、脳神経外科・内科、皮膚科・耳鼻科・眼科、小児科と診療科目も多岐にわたっています。婦人科については、滝沢市は医療資源に恵まれた盛岡市に隣接しており、滝沢市、盛岡市の医療機関から病院を選択し受診していただける環境にあり、他市町村と比較して恵まれた医療環境にあると認識しております。</p> <p>今後も市民の皆さんが安心して生活できるよう医師会の協力を頂きながら、各事業を継続してまいりたいと考えています。</p>		
件 名	インフルエンザの予防接種を中学卒業まで補助してほしい。おたふくかぜの予防接種も定期接種にしてほしい。		
状 況 等	<p>滝沢市の予防接種の公費負担については、予防接種法で定められた、定期予防接種に関して実施しています。インフルエンザの予防接種については、現在、65歳以上の高齢者に対し定期予防接種として実施することとして予防接種法で定められており、これに準じて、高齢者の接種費用の公費負担を実施しているところです。</p> <p>また、おたふくかぜについても同様に、予防接種法の定期予防接種ではなく、任意の予防接種であることから、公費負担を行っていない状況です。今後も、国の予防接種計画の動向に合わせて、検討してまいりたいと思います。</p>		
件 名	健診の項目が少なく高いと思う。		
状 況 等	特定健康診査・基本健康診査・長寿健康診査については、国の特定健診・保健指導プログラムで定められた項目の他、心電図検査、貧血検査、クレアチニン・尿酸検査を追加で全員に実施しております。また、前述の健診の自己負担料金については無料となっております。		

平成29年度 たきざわ幸福実感アンケート調査に関する自由意見への回答について(平成29年12月末時点)

部 名	健康福祉部	課 名	健康推進課
-----	-------	-----	-------

件 名	健康診断についてですが、多数の健診を行っていただいています、料金がかかってもいいので、かなり前のように血液検査等できるようにしてほしいです。
状況等	血液検査を含む健診につきましては、平成20年度より、「後期高齢者の医療の確保に関する法律」の中で、特定健康診査(血液検査を含む健診)の実施が医療保険者に義務付けられており、市では国民健康保険加入者を対象とした特定健康診査を無料で実施しております。 また、その他に後期高齢者医療被保険者を対象とした長寿健康診査、生活保護受給者を対象とした基本健康診査を無料で実施しております。社会保険の加入者の健康診査につきましては、加入されている保険者にお問い合わせください。

件 名	市立病院の建設を強く要望します。
状況等	滝沢市内には、2つの病院と19の診療所、21の歯科診療所があります。診療科も内科、外科、整形外科、脳神経外科・内科、皮膚科・耳鼻科・眼科、小児科と診療科目も多岐にわたっています。また、県都として医療資源が豊かな盛岡市へのアクセスも良く、住民の方々には、滝沢市内を始め、盛岡市内の医療機関から病院を選択し受診していただける環境にあり、他市町村と比較して、恵まれた医療環境にあると認識しています。 救急医療についても、休日の日中の比較的軽症の場合は、岩手西北医師会の協力により、休日救急当番医制事業を、また、夜間の比較的重症の場合は、盛岡市医師会の協力により、盛岡広域市町による盛岡地区二次救急医療事業を実施しています。 また、岩手医科大学付属病院が矢巾キャンパスへ移転後も、既存施設を活用した初期救急を含めた病院機能を維持する予定となっています。 今後も市民の皆さんが安心して生活できるよう医師会の協力を頂きながら、各事業を継続して参りたいと考えていますが、市として病院を設置することは、現在、考えていないところです。

部 名	健康福祉部	課 名	保険年金課
-----	-------	-----	-------

件 名	特定健康診査について
状況等	特定健診につきましては、個々の病院との契約ではなく、地元の医師会との契約で実施している事業になりますので、盛岡市内等の病院(地元医師会の管轄以外)での受診は難しい現状にあります。

件 名	医療費助成について
状況等	子ども医療費給付事業につきましては、制度の拡充を望むご意見を多数いただいております、平成29年8月からは、その中でも要望の多かった対象年齢の引き上げを行いました。制度の見直しを行うにあたり、未就学児まで所得制限を設けないことや限度額の引き上げについて検討を行いましたが、限られた財源の中で事業を実施していくため、全ての年齢に所得制限を設けることになり他市町村と同等の内容とすることはできませんでした。 安心して子育てをするためには必要な医療を受けられる体制が必要であると考えておりますが、所得制限の撤廃等につきましては、市の財政だけでは厳しい状況であるため、県に対して子育て支援対策に関する要望を行うとともに、市全体の既存事業との均衡を図りながら検討して参ります。

件 名	年金について
状況等	公的年金制度につきましては、物価、賃金や平均余命の変動、現役人口の減少などの社会情勢変化に対応し、給付を支える現役世代の負担とのバランスを維持するため必要な給付水準の調整が行われるよう法律に規定し運用されているものですので、定期的な年金受給額の改定について、ご理解の程よろしくお願いたします。

平成29年度 たきざわ幸福実感アンケート調査に関する自由意見への回答について(平成29年12月末時点)

部 名	経済産業部	課 名	商工観光課
件 名	チャグチャグ馬コの振興について		
状 況 等	<p>滝沢市を代表するチャグチャグ馬コを伝承し、全国の方に見てもらえるように関係団体や市内観光施設と協力しながら馬コの振興を図ってまいります。蒼前神社と岩手山を含めた田園風景は滝沢市でなければ見られない風景であることをPRしてまいります。</p> <p>行進については、市役所前を通過する行進路に変更したいと考えており、ビッグループ滝沢で馬に関わるイベントを開催しながら、観光客の誘客と滞留を図り、観光振興を推進してまいります。</p>		
件 名	岩手山麓の自然を生かした観光について		
状 況 等	<p>鞍掛山、岩手山の雄大な自然を楽しんでいただくために施設を管理していくとともに、多くの方に親んでもらえるようなイベントも関係団体と協力し実施してまいります。施設修繕も必要に応じ実施してまいります。自然資源や文化等を結び付けて地域を盛り上げる取り組みについては、市内の様々な業種の方と一体になった組織の設立を模索していますので、そちらをリードしながら推進してまいります。</p>		
件 名	特産品について		
状 況 等	<p>観光資源のブランド化を促進し地域経済の活性化を図るため、特産品の開発を支援し、普及を推進していきます。クイックスイートの芋焼酎「馬芋ん」、りんごワイン「ポム」、りんご「滝沢はるか」や滝沢スイカ等、ネットショップや各種イベントを通じてPRを行っております。</p> <p>ビッグループ滝沢のオープンにより、市内の特産品や土産品がたきざわキッチン内で購入できることとなりましたので、指定管理者や観光協会と連携しながら販売方法を工夫するなどし、より多くの方に購入していただけるようPRしていきたいと考えております。</p>		

部 名	経済産業部	課 名	企業振興課
件 名	雇用の場の確保について		
状 況 等	<p>市では、市内経済が活性化すること、及び雇用の拡大を最重要課題としており、特に若者が家庭を持って地元で安心して暮らしていくため、働く場が充実していることが重要であると認識しております。そのようなことから、市内企業の事業拡充への支援や新たな企業の誘致に向け取り組んでいるところであります。</p> <p>市内企業への支援としましては、研究機関との共同研究等の開発に対し補助金を設置して更なる事業拡充等に対する支援を行っている他、企業間のマッチングを推進し、新たな事業の展開へと進めております。</p> <p>企業誘致につきましては、(独)中小企業基盤整備機構が所有しておりました盛岡西リサーチパークの未譲渡区画を平成26年4月に市が取得し、積極的に企業誘致を行った結果、平成28年度中に全区画の譲渡が完了し、全体として15社計300名を越える従業員の雇用が確保されております。今後は新たな産業用地の確保について検討してまいります。</p> <p>また、岩手県立大学に隣接し、平成21年に開所致しました滝沢市IPUイノベーションセンター及び平成25年度に開所致しました滝沢市IPU第2イノベーションセンターでは、岩手県・岩手県立大学との連携によるIT企業を中心とした企業を誘致すべく、積極的な誘致活動を行っており、全体として22社、計約150名の従業員の雇用が確保されております。</p> <p>企業誘致につきましては、日本国内の自治体間の競争から、海外との競争に変化しております。そのような中であって、滝沢市独自の強みを生かした企業誘致が必要と考えておりますので、今後も、市内に立地する大学、人材などの強みを生かした企業誘致を積極的に推し進めるとともに、市内企業と連携し新たなビジネス創出につながる活動を進めることで雇用の場の拡大を進めて参ります。</p>		

平成29年度 たきざわ幸福実感アンケート調査に関する自由意見への回答について(平成29年12月末時点)

部 名 経済産業部		課 名 農林課	
件 名	農業を發展させてください。		
状況等	<p>農業へのご提言ありがとうございます。</p> <p>食料の自給率の低下や外国産の農産物の輸入量増大への懸念など、農業の先行きが不透明な状況もありますが、安全・安心な農産物を食卓に届けようと農家の方々は頑張っております。その方々の支援をさらに充実させようと、市としても取り組んでおります。</p> <p>また、農業は環境保全の面においても大きな役割を果たしております。市内において都市化が進んでいる地区との調和も図りながら、農業を充実させていきたいと考えております。</p>		
件 名	滝沢市として少し特色を出していった方が良い。いろいろな技術、野菜や果物にしてもいいものがあるのに活かせていない。		
状況等	<p>滝沢産農産物に高い評価をいただきましてありがとうございます。</p> <p>滝沢市内には産直施設がいくつかあり、地元の農家の方々が自慢の農産物を出しているらしいです。ご購入いただける方も市内のみならず市外からも来ていただいております。また、市内のスーパーマーケットでも、生産農家のお名前入りで扱っていただく所もあり、滝沢産の農産物の知名度も高まりつつあると考えております。</p> <p>ご指摘のとおり、いいものがありながらも活かされていない状況もあるかと思っておりますので、農家の方々とさらに情報交換を行いながら、さらに滝沢産農産物のイメージアップを進めていきたいと考えております。</p>		
件 名	農耕地の活用を推進してほしい。アンケートの内容に加えるなどが必要だと思います。		
状況等	<p>最近、遊休農地の増大が懸念されております。農業従事者の高齢化や後継者不足がその背景の一つとして挙げられております。地域の農業担い手の方々の支援しながら、農地利用の効率化を進めているところでありますが、まだ十分に行き届かないところもあると思われまますので、今後も可能な支援策を検討していきたいと考えております。</p>		
件 名	休耕田や畑の草取りの手入れをしないので、雑草が伸び視界が悪くなります。手入れをするよう市の方からもお願いしたいです。		
状況等	<p>ご心配いただきまして申し訳ございません。</p> <p>市農林課や農業委員会に対しそのような情報が寄せられた際には、現地確認を行い対応しております。所有者の方に改善を求めたり、遠隔地の方の場合は地元の方々で対応ができないかご相談させていただいたりしております。</p> <p>いろいろなケースがありまた個人の所有権がありますので、すぐ改善ができない場合もありますが、可能などところで今後も対応してまいります。</p>		
件 名	私の地域にはビッグルフのような建物が無いので、ちょっと格差を感じています。せっかく地域内で農業を営んでいるお宅もあるのに、買うのはスーパーのものばかり。川前地区にも小さくて良いので、ビッグルフのような施設で地域の方の作った作物を手にしたいです。		
状況等	<p>ビッグルフに高い評価をいただきありがとうございます。</p> <p>今日、農業分野においては、地産地消が大きなテーマとなっております。それを示すものとして、学校給食への地元農産物の利用や、産直施設の充実が例として挙げられると思われまます。市内に産直施設が何か所かありますが、それぞれ特色を活かし販売を行っております。各地域をカバーするには開設されていない面もあるかとは思いますが、市内産直との情報交換も行いながら充実を図り、いろいろな所からご利用に来ていただければと考えております。</p> <p>また、施設建設につきましては、建設が可能かどうかの判断を含めまして、多くの時間がかかるためすぐにはお答えできないことをご理解いただきたいと思います。</p>		
件 名	田畑、自然を大切にしてほしい。		
状況等	<p>2015年の農林業センサスによりますと、滝沢市面積18,246haの内、田畑面積が3,460ha、林野面積が9,370haとなっており、自然環境豊かな滝沢市が浮かび上がってきます。田畑も山林もその産業分野における役割のみならず、国土保全の面や癒しの空間としての役割等、多面的な面を備えております。</p> <p>それらの機能が十分に発揮されるよう、保全してまいりたいと考えております。</p>		

平成29年度 たきざわ幸福実感アンケート調査に関する自由意見への回答について(平成29年12月末時点)

部 名 経済産業部		課 名 農林課	
件 名	雨が降るたび農業用水路の水が増えて、地内に入る水が不安で夜も眠れない日々もあり困っている。市政は何をやっているのか？		
状 況 等	平成29年は雨の日が多く、大雨による災害も発生しております。災害にあわれた方々には心よりお見舞いを申し上げます。 気象情報を確認し、土地改良区等と連携しながら、事前に危険箇所等のパトロールを行い、台風等の通過後には関係箇所を点検しております。情報収集を行いながら現地対応もいたしておりますが、まだ把握が不十分な部分もあろうかと考えますので、寄せられた情報をよくお聞きしながら、水路の管理者と協議し対応したいと考えております。		
件 名	田んぼに水が来ない。農道にすれ違い場所がほしい。		
状 況 等	田を作付けしているのに、予定している量の水が来ないというのは、明らかになんらかの原因があると思われます。それが、特定の田の問題であるのか、ある一定の地域の問題であるのか、水路管理者に確認する必要があると考えられますので、まずは市農林課またはご加入の土地改良区等に状況をお教え下さい。 また、農道につきましても、管理者や土地所有者を確認する必要がありますので、どこの部分に必要であるのかお教えいただければと思います。		

平成29年度 たきざわ幸福実感アンケート調査に関する自由意見への回答について(平成29年12月末時点)

部 名	都市整備部	課 名	都市政策課
件 名	市内の公共交通について		
状 況 等	<p>滝沢市の公共交通については、高齢者、公共交通不便地域の住民、さらには今後増えてくる免許返納者の移手段の確保が課題となっております。</p> <p>市では、人口減少、少子高齢化、マイカー依存等の影響により公共交通(特にも路線バス)の利用者が減少する中、民間及び市が運行するバス、鉄道、タクシーを含めた総合的な公共交通網の実現を目指して「滝沢市地域公共交通網形成計画」を平成29年9月に策定したところであります。</p> <p>今後は本計画に定める施策を展開し、公共交通の利用を促進して維持するとともに、高齢者や免許返納者などの交通弱者への支援やより効率的で利用しやすい公共交通ネットワークの再編など市全体の持続可能な公共交通のあり方について、まちづくり、観光、福祉等とも連携を図りながら検討して参ります。</p>		
件 名	市内バス関連について		
状 況 等	<p>・路線バスのダイヤ・運行本数などについて</p> <p>滝沢市は盛岡市と同じ生活圏ということもあり、市内のバス路線は盛岡市中心部への連絡が主であり、市役所への連絡をはじめ市内地域間を連絡するバス路線は少ない状況にあります。</p> <p>路線バスは需要と運行経費のバランスにより維持されておりますが、その利用者数は全国的に減少が続く一方で、運行経費を左右する便数、料金等については採算性を考慮した運行とならざるを得ない現状にある中、昨今の燃料高騰や建設事業の需要拡大等によるバス運転手の不足がさらに輪をかけ、年々減少もしくは一部廃止を余儀なくされている状況にあります。</p> <p>現在、市内を走行する路線バスの運行本数についても、県内では盛岡市に次いで多く運行されている状況となっておりますが、年々減少しており、地域生活の足を守るという観点から今後とも積極的なご利用をお願いいたします。</p> <p>市といたしましてもバス事業者等と課題を共有しながら、利用しやすい効率的な運行の調整に努めて参ります。</p> <p>・市内を結ぶバス網について</p> <p>市内の各地域間と市役所を連絡する路線については、過去に巢子地区から市役所周辺まで民間路線バスを走らせましたが、通勤・通学などで市民の約6割の方が盛岡市へ移動している本市の特性から利用者が少なく廃止に至った路線もあり、継続的な運行の確保が難しい現状にあります。よって、市内の公共交通の利用実態をよく把握したうえで持続可能な市内幹線バス網について検討しなければならないと考えております。</p> <p>市では、各地域と市役所を連絡するバスとして、どなたでも乗車できる「福祉バス」を月・金曜日に運行しております。(※「福祉バス」の詳細はホームページ等をご覧ください。)また、平成29年度から福祉バスの全3系統を試験的にビッグループ滝沢へ乗り入れております。</p> <p>今後は、市内各地域から市役所周辺を連絡する公共交通ネットワークの構築について、利用実態をよく把握したうえで、平成29年9月に策定した「滝沢市地域公共交通網形成計画」のなかで検討して参ります。</p>		
件 名	小岩井駅周辺の整備について		
状 況 等	<p>JR小岩井駅周辺整備事業については、小岩井地域の利便性、活性化、公共交通の利用促進、さらには通学児童生徒の安全性の向上を目的として進めており、平成30年度から整備に向け詳細設計等に着手する予定となっております。</p>		

平成29年度 たきざわ幸福実感アンケート調査に関する自由意見への回答について(平成29年12月末時点)

部 名	都市整備部	課 名	都市政策課
件 名	公園の遊具を整備してほしい。新たに公園を整備してほしい。		
状 況 等	<p>現在、市では滝沢総合公園をはじめ市内に192箇所の公園が配置されています。公園及び遊具のほとんどは、民間宅地開発の際に設置されたものであり、老朽化などにより修繕・更新が必要な遊具については、自治会の意向を確認しながら更新を進めており、今後におきましてもニーズを把握しながら遊具の更新を進めて参ります。</p> <p>また、現在新たな公園の整備は計画されておきませんが、自治会へのアンケート調査などの結果を踏まえながら、公園の統廃合を含めた整備について検討して参ります。</p>		
件 名	菓子地区、滝沢駅周辺なども発展させてほしいなど		
状 況 等	<p>菓子地区や滝沢駅周辺は、本市において民間の宅地開発が集中した地区となっております。しかし、菓子地区については、現在の市街地の中での農地がまだ残っており、これらが開発されることにより、さらに市街地が発展されるものと考えます。</p> <p>また、滝沢駅については、多くの大学生が利用している駅ですが駅周辺の商業施設については不十分と考えております。現在の市街地は住宅が密集しており、商業施設の立地などについての課題が多くありますが、今後地域と民間事業者と連携しながら、地域の賑わい、振興などに寄与するまちづくりの推進を進めて参ります。</p>		
件 名	空き家対策について		
状 況 等	<p>市では、現在関係課(都市政策課・環境課・防災防犯課・地域づくり推進課)で構成される空き家対策プロジェクトチームを組織し取り組んでおります。平成27年度には空き家相談マニュアルを作成するとともに、自治会に対し空き家実態調査を行いその結果に基づき現地調査を行い、周辺に影響を及ぼしている空き家所有者等に適正な管理をお願いしております。平成28年度には、引き続き空き家の一斉調査と通知を実施するとともに適正な管理の連携とスムーズな相談体制などを強化するために市・商工会・滝沢市シルバー人材センターとの3者で協定を締結しました。今年度は空き家管理者への適正管理啓発等のためパンフレットを作成し市内に回覧するとともに、空き家管理者へ通知する際に同封し啓発を行っております。今後とも、継続的な調査や通知を行いながら、関係機関との連携を強化して空き家対策を行って参ります。</p>		
件 名	市営住宅を建設してほしい。		
状 況 等	<p>現在、市には一本木地区に10棟の市営住宅がありますが、全戸入居済みであり、新たに入居を希望する方には大変ご不便をおかけしています。市営住宅の設置の手法としては、市による住宅の建設、買い取り、借り上げなどの形態がありますが、いずれも相当の公費を要するものであり、慎重な検討が必要です。盛岡市近郊の住宅地である本市においては、現在、多様な住宅の供給は充足しているものと捉えており、市営住宅によらずとも皆さまのニーズに応じた住宅はある程度取得可能と考えます。よって、現在のところは市営住宅の新規整備の計画はありませんが、住宅情勢等の変化に応じて、需要の高まりが見られたときに検討して参ります。</p>		

平成29年度 たきざわ幸福実感アンケート調査に関する自由意見への回答について(平成29年12月末時点)

部 名	都市整備部	課 名	道路課
件 名	市道の除雪について		
状 況 等	<p>市道及び市が管理する法定外公共物(通称赤線等)について除雪を行っております。</p> <p>○除雪のタイミングが悪い 市道の主要路線につきましては、午前7時完了を目標に行っておりますが、降雪状況により除雪に長時間を要した場合などで、各地区間での除雪時間差等が生じ、各家庭で除雪した後に除雪車が入った場合もあり、ご迷惑をおかけしたこともあったと認識しております。除雪作業は、降雪量、雪の降り方、地域の状況などにより、大きく完了時間は左右されますが、初期除雪の徹底など作業業者と連携して、スムーズな除雪を進めてまいりますのでご理解とご協力をお願いします。なお、平成26年度からは各地区ごとの委託業者の中から班長を定めるなど試行錯誤しながら、地域にあった除雪が行えるよう努力しております。</p> <p>○除雪の仕上がりや頻度など地区により差が生じている 市内を地区分けし、業者に委託して除雪を行っており、地区により降雪状況が異なる場合があることから 地区毎に出動を指示する必要があるため地区により除雪回数に差が出る場合がありますが、作業員の資質の向上と作業の均一化などを業者とともに一層徹底してまいります。</p> <p>○圧雪凍結での段差など危険箇所の解消と幅員の狭い道路の除雪 道路が凸凹とならないよう均一的に作業を進めるほか、交差点やカーブなどは見通し悪化に配慮するなど、各地区の積雪特性や重要ポイントなどを整理検討し、冬季間の交通安全を確保しています。</p> <p>また、幅員の狭い道路につきましては、安全確保のため雪の寄せ方等の工夫により少しでも幅を確保できればと考えていますので、地域の皆様と情報交換を重ね、より良い除雪を進めていきたいと思っております。</p> <p>○私道などの除雪対策 私道の管理は所有者や使用者によることとなっております。私道への支援として、一定の要件はありますが除雪費の補助を行っておりますのでご利用ください。</p>		
件 名	市道の新設改良について		
状 況 等	<p>滝沢市の道路整備計画により、効率的かつ効果的な整備を目指しております。</p> <p>○歩道の整備促進 新設改良の際に歩道を設置しているほか、小学校などの教育施設周辺から、交通安全対策として順次整備を進めております。</p> <p>なお、歩道を整備する際は段差の少ないバリアフリー構造としております。</p> <p>○道路の新設や改良・改修促進 幹線市道と国・県道の整備、市総合計画等と整合した一体的整備が必要な箇所について、優先的に進めております。</p> <p>また、側溝改修や路肩拡幅等により、歩行者や車両すれ違い空間の確保を図っているほか、低騒音・排水性舗装なども進めております。</p>		
件 名	市道の維持管理について		
状 況 等	<p>市道及び市が管理する法定外公共物(通称赤線等)について、維持管理を行っております。</p> <p>また、舗装の全面補修や側溝の設置など費用のかさむ工事については、滝沢市の道路修繕計画の中で、緊急性や危険度を検討し順次整備を進めています。</p> <p>○市道維持管理全般 管轄する道路等について、日常的に道路パトロールを行い、即時対応できる簡易な補修等はその場で行うなど迅速化を図っています。しかしながら、市道延長は500km以上に及んでおり、全ての状況を短期間で把握することは難しいため、道路を利用される皆様からの情報提供をお願いいたします。</p>		

平成29年度 たきざわ幸福実感アンケート調査に関する自由意見への回答について(平成29年12月末時点)

部 名	都市整備部	課 名	道路課
-----	-------	-----	-----

件 名	県道について
状 況 等	<p>○主要地方道盛岡環状線 盛岡環状線は広域的な主要幹線道路であり、市内においては重要な生活道路として利用されていますが、特に国道4号分岐交差点から国道46号までの区間は、県内外からの大型車の通過交通が多く、幅員の狭小や線形の不良により交通混雑が慢性化しているとともに交通事故の発生が懸念されています。</p> <p>このことから、管理者である岩手県に対し継続的な改善要望を実施しており、平成32年度までの予定で中鵜飼地区約1,100mの改良事業が行われています。今後においても事業の早期完了と未改良区間の早期事業化を要望してまいります。</p> <p>○県道盛岡滝沢線 盛岡方面から主要地方道盛岡環状線までの区間について、管理者である岩手県に対し道路拡幅、歩道整備を要望しており、下高柳地内の道路改良事業が平成28年度に完了しました。また、平成27年度より下鵜飼地区約750mの改良事業が平成32年度までの予定で実施されています。今後においても未改良区間の早期事業化を要望してまいります。</p>

件 名	国道について
状 況 等	<p>○国道4号 国道4号盛岡北道路(盛岡市茨島跨線橋～滝沢分岐交差点)については、関係市町村による「国道4号盛岡北道路整備促進期成同盟会」を組織し、国に対して整備促進と財源確保の要望活動を継続してきたところですが、平成27年度に4車線供用開始となっており、現在電線地中化工事を行っております。</p> <p>○国道282号 一本木地区のバイパス工事が進められ暫定開通していますが、引き続き岩手県に対し早期の全線開通を要望してまいります。</p>

部 名	都市整備部	課 名	河川課
-----	-------	-----	-----

件 名	諸葛川の管理について
状 況 等	諸葛川については、岩手県の管理河川となっていることから、岩手県との情報共有など連携を図りながら、河川パトロール等の強化、災害防止に努めます。

件 名	大釜地域について
状 況 等	現在、浸水対策に向けた調査および計画の策定を推進しており、早期着手、早期完了を目指します。

平成29年度 たきざわ幸福実感アンケート調査に関する自由意見への回答について(平成29年12月末時点)

部 名	上下水道部	課 名	水道総務課																
件 名	水道料金が低い。値下げを期待したい。																		
状 況 等	<p>水道事業は、地方公営企業法が適用され、受益者負担の原則による独立採算制を基本に経営されております。</p> <p>水道料金は、学識経験者や公募で選出された方々を委員とする水道事業経営審議会水道事業の経営内容と水道料金のあり方を審議し、議会の議決を受けて決定されます。</p> <p>水道料金の金額は、水道水を作ってお客様にお届けするための費用と老朽化する水道施設の更新など事業を継続するために必要な施設の整備資金が確保できるように設定されています。</p> <p>岩手県内の水道料金(平成28年4月1日現在)をみますと、口径13ミリで1か月に10<sup>m</sup>使用した場合、最高は2,872円、最低は918円、当市は1,829円で中位からやや低めの料金となっております。</p> <p>盛岡市周辺の市町村との料金比較については、水道料金の算定条件が異なりますので一概に比較できません。参考比較として、13ミリ、20ミリそれぞれの口径において5<sup>m</sup>、20<sup>m</sup>使用した場合の盛岡市との料金比較(平成29年4月1日現在)は以下のとおりとなりますので参考としてください。</p> <p>比較は以下のとおりです。</p> <p>(1) 口径13ミリで5<sup>m</sup>使用した場合の水道使用料(消費税込)</p> <table border="0"> <tr> <td>滝沢市</td> <td>盛岡市</td> </tr> <tr> <td>1,069円</td> <td>1,292円</td> </tr> </table> <p>(2) 口径13ミリで20<sup>m</sup>使用した場合の水道使用料(消費税込)</p> <table border="0"> <tr> <td>滝沢市</td> <td>盛岡市</td> </tr> <tr> <td>3,349円</td> <td>2,832円</td> </tr> </table> <p>(3) 口径20ミリで5<sup>m</sup>使用した場合の水道使用料(消費税込)</p> <table border="0"> <tr> <td>滝沢市</td> <td>盛岡市</td> </tr> <tr> <td>1,419円</td> <td>1,940円</td> </tr> </table> <p>(4) 口径20ミリで20<sup>m</sup>使用した場合の水道使用料(消費税込)</p> <table border="0"> <tr> <td>滝沢市</td> <td>盛岡市</td> </tr> <tr> <td>3,699円</td> <td>3,480円</td> </tr> </table> <p>滝沢市の水道事業は、安全な水道水の安定給水を継続するために、老朽施設の更新を計画的に実施してまいります。</p> <p>なお、今後は人口減少による水道収益の減少が予想されますので、将来にわたって安定かつ持続可能な経営となるよう、事業の一層の効率化を図りつつ、適正な水道料金となるよう定期的に見直ししてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。</p>			滝沢市	盛岡市	1,069円	1,292円	滝沢市	盛岡市	3,349円	2,832円	滝沢市	盛岡市	1,419円	1,940円	滝沢市	盛岡市	3,699円	3,480円
滝沢市	盛岡市																		
1,069円	1,292円																		
滝沢市	盛岡市																		
3,349円	2,832円																		
滝沢市	盛岡市																		
1,419円	1,940円																		
滝沢市	盛岡市																		
3,699円	3,480円																		

平成29年度 たきざわ幸福実感アンケート調査に関する自由意見への回答について(平成29年12月末時点)

部 名	上下水道部	課 名	水道整備課
-----	-------	-----	-------

件 名	上水道の水質について
状 況 等	<p>上水道などの水道は水道法により塩素消毒が義務づけられており、市では「安心・安全な水」に加え、「おいしい水」を意識した浄水処理に努めております。</p> <p>具体的には、浄水場で作られた水道水の水質はもとより、実際に給水されている水道水の水質を監視するため、市内の11名の方に、におい、味、残留塩素濃度などの水質検査を毎日お願いし、水道事業ガイドラインで示されている「塩素臭を不快と感じなくなる残留塩素濃度0.4mg/L」以下であることを確認しております。</p> <p>においや味などは個人差がありますが、明らかに通常と異なるにおい、味などが感じられた場合は、ほかの理由による水質汚染が考えられることから、市としても水質検査や是正措置など速やかに対応いたしますので、すぐにご連絡いただきますようお願いいたします。</p>

件 名	上水道の整備について
状 況 等	<p>上水道について、給水区域内の場合であれば、水道を必要としている方が、必要な口径で必要な場所までの工事費等を負担してご利用いただいております。なお、私道であれば、埋設される水道管も個人の所有・管理となります。</p> <p>また、給水区域内で公道に面している場合、「未給水地域解消事業における配水管整備要綱及び取扱要領」により、3件以上の既存住宅が給水申し込みすること等を要件に市で配水管を整備する制度があります。</p>

部 名	上下水道部	課 名	下水道課
-----	-------	-----	------

件 名	下水道の整備要望について
状 況 等	<p>公共下水道については、どのような条件下でも全域に整備するというものではなく、市街化区域や人口が集中する地区など、効果的に整備できる地域を設定した上で、整備計画を策定して実施しています。</p> <p>公共下水道の整備計画区域外の方については、原則として合併処理浄化槽の設置により水洗化をすることとなりますが、滝沢市では浄化槽設置への経費補助事業を行っています。</p> <p>滝沢市の公共下水道の整備については、今後10年間の整備構想である「下水道事業概成アクションプラン」が平成29年3月に策定されており、現在もその計画に基づいて整備事業を進めています。</p>

件 名	下水道事業の財源について(不公平感について)
状 況 等	<p>生活の中で発生する排水(汚水)と降雨による排水(雨水)を合わせて「下水」と言い、それらを適正に川に排出するまでの管などの施設を総称して「下水道」と言います。</p> <p>下水道事業の中でも雨水事業については、主に税金により運営されていますが、生活排水等を処理する汚水事業については、その利益を得る土地の所有者の方々からの「受益者負担金」や下水道使用者の方々からの「下水道使用料」などを主な財源として、事業運営を行っています。</p> <p>この財源の区別により、下水道が整備されることで利益を得る方と得ない方との間での公平性が保たれることとなりますので、ご理解をお願いいたします。</p>

件 名	下水道工事の経費負担について
状 況 等	<p>滝沢市が実施する下水道事業のうち汚水事業については、「市が整備する公共下水道による処理事業」と「個人が設置する合併処理浄化槽への経費補助事業」の二つの事業を軸としています。どちらの事業であっても、家屋工事費などの個人負担を伴うものとなりますので、ご理解をお願いします。</p>

平成29年度 たきざわ幸福実感アンケート調査に関する自由意見への回答について(平成29年12月末時点)

部 名	教育委員会	課 名	教育総務課
-----	-------	-----	-------

件 名	滝沢中央小学校について
状 況 等	滝沢中央小学校は、県内第1位、第2位の児童数である滝沢小学校と鶴飼小学校の大規模校を解消し、それぞれが適正規模の学校となるよう、通学区域を一部見直し、現在、建設工事をすすめております。 また、ソフト面では、開校準備委員会と4つのワーキンググループで開校に向けて準備をすすめております。

件 名	教育の充実について
状 況 等	子どもたちが生き生きと学習できる、居心地の良い、安全・安心な教育基盤の充実に努めてまいります。

部 名	教育委員会	課 名	学校給食センター
-----	-------	-----	----------

件 名	学校給食費の児童手当徴収について
状 況 等	平成22年度から子ども手当、平成24年度から児童手当より未納の学校給食費を差し引いておりますが、保護者からの申し出が必要であり、申し出のない未納者に行くことはできない制度となっております。 この制度を含めた学校給食費に関して、更なる周知を行い、学校給食費の未納解消に努めてまいります。

平成29年度 たきざわ幸福実感アンケート調査に関する自由意見への回答について(平成29年12月末時点)

部 名	教育委員会	課 名	学校教育指導課
件 名	スクールガードの取組について		
状 況 等	<p>本市におけるスクールガードの取組は、平成18年度から始まり、今年度で12年目を迎えました。今年度は311人の登録があり、ボランティアで不審者対策、登下校の交通安全の見守りをしていただいております。多くの保護者の方から感謝の声が寄せられております。</p> <p>現在スクールガードの講習会等は実施しておりませんが、年2回実施している教育委員会主催の会議や各小学校ごとの情報交換会等で、横断歩道等における安全な誘導等についての資料を配布しておりますが、改めて安全な活動の在り方について徹底を図ってまいります。</p> <p>今後もスクールガードの取組を継続して頂きたいと考えておりますが、児童生徒の安全確保のため、保護者及び地域の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。</p>		
件 名	障がいのある児童生徒の就学支援について		
状 況 等	<p>市教育委員会では、特別な支援を必要とする児童生徒の適正な就学措置の判断を行うため就学指導委員会を設置しております。就学指導委員会では児童生徒の障がいの種別や程度等に応じて、県立の特別支援学校、市内小中学校に設置されている特別支援学級等への措置を判断し、保護者との教育相談を重ねながら、児童生徒がより望ましい環境で学習に取り組むことができるよう適切な就学指導の推進に努めております。</p> <p>市教育委員会におきましては、今後も児童生徒や保護者のニーズを把握しながら、特別支援学級の設置や特別支援教育支援員の配置等を通して、特別支援教育の充実を図ってまいります。</p>		
件 名	中学校の部活動のやりすぎについて		
状 況 等	<p>生徒の負担を減らし、家庭学習や休息の時間等を確保するためにも、市教育委員会では、部活動の休養日を月6日設けるよう中学校を指導しているところであります。</p> <p>なお、夜間の練習については、学校の教育活動外のものとして捉えております。</p>		
件 名	学校の教職員の業務上のストレスについて		
状 況 等	<p>全国的に学校の教職員の長時間労働が課題とされ、ストレスの要因になっているものと思われまます。本市小中学校におきましては、校内衛生委員会を設置し、校長を中心に時間外勤務の削減や職場環境の改善に取り組んでいるところであります。</p> <p>市教育委員会では、昨年度滝沢市学校衛生委員会を立ち上げ、教職員の時間外勤務の実態把握とその改善に向けた取組について協議し、校内衛生委員会と連携しながら、教職員のストレスの軽減等職場環境の改善を図っているところであります。</p>		
件 名	学校の教職員の質の向上について		
状 況 等	<p>学校の教職員につきましては、自らの力量を向上させるために、県や市で行われる研修、校内での研修、日々の教育実践等を通じて、研究と修養に努めているところであります。</p> <p>また、滝沢市では、目指す学校像として「正義と信頼の学校」を掲げ、教員自身が正義の姿勢を示すこと、教員が児童生徒、保護者と信頼し合う関係を築くことを目指して、学校づくりに取り組んでいるところであります。</p>		
件 名	元村地域の有刺鉄線について		
状 況 等	<p>元村地域の道路にある有刺鉄線につきましては、私有地に張られているものであり、当方で撤去することはできないものであります。学校ではその道路を通学路とはしておりませんが、通っている児童もいるため、9月末、全校児童に注意喚起するとともに、有刺鉄線に近づかないよう指導したところであります。今後も、学校において定期的に指導するとともに、各御家庭においても注意していただくようお願いいたします。</p>		
件 名	滝沢らしい教育プログラムについて		
状 況 等	<p>滝沢市では、主に小学校の総合的な学習の時間において、滝沢の自然や農作物、伝統芸能等を題材にした学習を行っております。その学習では、地域の人材も活用して、講義や実技指導等を行っていただいております。今後も、滝沢の資源を生かした単元の開発に取り組んでまいります。</p> <p>また、教育委員会では、平成30年3月に郷土史「滝沢市の歩み」を発刊いたします。子供たちにも親しみやすい内容になっておりますので、この郷土史を活用した学習活動も取り入れていきたいと考えております。</p>		

平成29年度 たきざわ幸福実感アンケート調査に関する自由意見への回答について(平成29年12月末時点)

部 名		教育委員会事務局	
課 名		生涯学習スポーツ課	
件 名	総合公園の使用用途を増やしてほしい。(ラグビーやクライミング等)		
状況等	ラグビーゴールについては、平成29年度で整備済ですのでご利用が可能です。クライミング施設については、施設整備が難しいことから、県営運動公園のクライミング施設をご利用ください。		
件 名	クラブ活動の充実を望む。		
状況等	市内では、市体育協会が実施している「チャグチャグスポーツクラブ」がありますのでそのクラブへの参加をお願いします。また競技種目の増等については、市体協へご相談ください。		
件 名	子どもや障害者(水中歩行)が利用できるプールを作してほしいです。		
状況等	プールの新設は建設費の関係から困難と考えられますので、一般開放している県立大学の屋内プール、「ゆびあす」(盛岡市余熱利用健康増進センター)、盛岡市立総合プールをご利用ください。		
件 名	若い年代が参加できるスポーツ交流会(フットサル)などを実施してほしい。		
状況等	市主催のフットサル大会は行っていませんが、オープン参加の「安比カップ」等の大会の予選大会を実施しており、それら大会への参加をお願いします。		
件 名	運動施設が遠い。趣味をするにも、盛岡市内で行っている。盛岡の方に愛着あり。(巢子・長根・川前地域)		
状況等	巢子・長根・川前地区には、運動できる施設として東部体育館、葉の木沢山活動センター、学校開放では、滝二小、滝二中、東小がありますので、これら施設のご利用をお願いします。		
件 名	巢子地区にも、冬期間運動できるスポーツジムが欲しいです。		
状況等	巢子地区へのスポーツジムの新設は難しいと思われるので、近接の東部体育館内のトレーニング施設や、総合公園体育館のトレーニング施設をご利用願います。		
件 名	室内で運動できる場所が少なく料金も高い。		
状況等	市内には、公共の室内運動施設として6施設、小中学校の学校開放として12校の利用が可能となっておりますのでこれらの施設のご利用をお願いいたします。また、学校開放施設については、料金は無料となっております。		
件 名	これからの冬から春にかけて体を使ってのびのび遊べる場所が全くない。		
状況等	最寄りの学校の学校開放制度をご利用ください。子供会活動であれば、団体登録の必要はなく前月の20日までに学校に申し込めば利用可能です。また、競技スポーツでの運動であれば市体育協会が実施している「チャグチャグスポーツクラブ」がありますのでそのクラブへの参加をお願いします。		
件 名	気軽に運動できるよう、運動器具とか歩いて行けるところにいろいろあると良いと思います。		
状況等	器具の設置に係る整備費、用地、管理等の課題があり難しいと思われます。		
件 名	子どもたちや地域の方々がスポーツでもっと交流できる場が欲しい。		
状況等	現在市では、子どもたちや地域の方々がスポーツで交流するイベントとして、市民を対象として市体育協会主催の「市民体育祭」、「スポーツフェスティバル」を実施しておりますのでこちらへの参加をお願いいたします。		
件 名	巢子地区にも筋トレができる施設を作ってください。		
状況等	巢子地区へのスポーツジムの新設は難しいと思われるので、近接の東部体育館内のトレーニング施設や、総合公園体育館のトレーニング施設をご利用願います。		

平成29年度 たきざわ幸福実感アンケート調査に関する自由意見への回答について(平成29年12月末時点)

部 名	教育委員会事務局	課 名	生涯学習スポーツ課
-----	----------	-----	-----------

件 名	もっと子どもたちの遊ぶ場所、活動する場所が欲しい。
状 況 等	市内には、公共の室内運動施設として6施設、小中学校の学校開放として12校の利用が可能となっておりますのでこれらの施設のご利用をお願いいたします。また、競技スポーツでの活動であれば市体育協会が実施している「チャグチャグスポーツクラブ」がありますのでそのクラブへの参加をお願いします。

件 名	東部体育館の屋根がすっかり錆びている。あの様になる前になんとかできなかつたのか。
状 況 等	財政事情により修繕できず現在に至っておりますが、現在の計画では、平成31年度実施設計、平成32年度改修工事を実施する予定となっております。

部 名	教育委員会	課 名	文化振興課
-----	-------	-----	-------

件 名	文化的な諸行事への援助について
状 況 等	第1次滝沢市生涯学習推進計画前期基本計画「学びプランたきざわ」の基本方針「伝統を受け継ぎ未来へと継承」のもと、教育委員会は、関係団体との共催により芸術祭や郷土芸能まつりなどを開催し、また、様々な芸術文化団体に対しても支援しております。市民の皆様には、市内の社会教育施設と連携しながら発表機会や鑑賞機会の提供に引き続き努めてまいります。

件 名	図書館の賑わいがほしい要望について
状 況 等	湖山図書館は移転開館1周年を迎え、蔵書数約8万3千冊、延べ利用者数は約15万人となりました。広くなった館内、明るい閲覧席、親子で過ごせる読み聞かせコーナーもあり、また、ホールや会議室、産直やキッズルームなど様々な機能をもった複合施設内に移転したことで、これまで図書館には来る機会が少なかった方々にも足を運んでいただけるようになりました。今後も、市民の皆さまからのお声を頂きながらニーズに沿った蔵書に努め、より身近な学びの場・交流の場としての図書館となるよう努めてまいります。

平成29年度 たきざわ幸福実感アンケート調査に関する自由意見への回答について(平成29年12月末時点)

部 名	企画総務部	課 名	総務課
-----	-------	-----	-----

件 名	職員の態度や対応が悪い(あいさつがない、無愛想など)ので、人材育成に力を入れた方がよい。
-----	--

状 況 等	職員の接遇研修等を実施しておりますが、市民からの苦情やご意見を踏まえ、人材育成の取組を更に充実させ、お客様の立場になったより良い対応ができるよう、今後も職員に指導を行ってまいります。
-------	---

件 名	窓口の対応がよい。親切にしてもらっている。
-----	-----------------------

状 況 等	市民の皆さんに親しんでもらえる市役所であるよう定期的に職員研修等を実施しております。今後も、より良い対応ができるよう、職員の育成を継続してまいります。
-------	---

部 名	企画総務部	課 名	財務課
-----	-------	-----	-----

件 名	役所の正面玄関が車いすで入りにくい。
-----	--------------------

状 況 等	市では、市民が利用しやすい庁舎の環境づくりを心掛けています。庁舎の改修等で正面玄関を工事する際には、市民の皆様の意見を踏まえ、市民がより利用しやすい環境になるよう努めてまいります。
-------	--

件 名	ふるさと納税のお返しの品物はなんですか。
-----	----------------------

状 況 等	小岩井農場乳製品、お米、野菜、スイカ、りんご、クイックスイート加工品、肉類、お菓子、ニンニク、お酒、岩魚、陶器、木工品、小物、花及びルーレット式おみくじ器など地元特産品や地元企業の商品を中心としたおおよそ150品目となっております。スイカ、りんごなどは期間及び個数限定となっており、その季節に合わせた返礼品の提供も行っております。
-------	---

件 名	公共施設等の計画的な管理に向けた取組について
-----	------------------------

状 況 等	市では、今後人口減少等により公共施設等の利用需要が変化していくことを踏まえ、早急に公共施設等の全体の状況を把握し、長期的な視点をもって、統廃合、長寿命化及び更新等を計画的に行うことにより、財政負担の軽減及び平準化を図るとともに、公共施設等の最適な配置を実現するために滝沢市公共施設等総合管理計画を策定しております。また、小学校や庁舎など類型別に対応するために個別施設計画の策定に着手しております。
-------	--

件 名	休業している温泉施設の活用は。
-----	-----------------

状 況 等	入浴施設としては廃止しましたお山の湯については現在、市があらためて費用をかけてこの施設を再活用する予定はありません。活用方法について検討を重ねております。
-------	---

件 名	財政運営について
-----	----------

状 況 等	市の財政運営については、持続可能で安定的な財政環境を保つために、歳入歳出両面からの施策が必要であり、聖域を設けることなく制度の根幹まで踏み込んだ抜本的な見直しを徹底的に行い、可能な限り歳入の拡大と歳出の削減を図ることとして、平成27年度当初から財政構造改革に着手しております。
-------	--

状 況 等	第1次滝沢市総合計画の基本構想においては、市域全体計画の戦略方針を踏まえ、限られた財源を有効に活用することとし、予算編成を行っております。これにより、事業の優先度を勘案した、また、無駄のない予算となっていると考えておりますが、今後も予算編成を含めた財政運営にあたっては、将来にわたって持続安定した財政基盤を築けるよう取り組んでまいります。
-------	---

平成29年度 たきざわ幸福実感アンケート調査に関する自由意見への回答について(平成29年12月末時点)

部 名	企画総務部	課 名	税務課
件 名	税金も高く嫌になります！！【他1件】		
状 況 等	本市では、法人市民税と国民健康保険税以外の市税(固定資産税、個人住民税、軽自動車税など)につきましては、地方税法に定められている標準的な税率で納税者の皆さんに賦課させていただいておりますので、ご理解のほどよろしく願いいたします。		
件 名	市になってから税金が高い。		
状 況 等	本市の市制施行にあたって、村から市になることを理由とした税率の改正や、計算方法の変更は行っておりません。また、法人市民税と国民健康保険税以外の市税(固定資産税、個人住民税、軽自動車税など)につきましては、地方税法に定められている標準的な税率で納税者の皆さんに賦課させていただいておりますので、ご理解のほどよろしく願いいたします。		
件 名	税金を増やさないでほしい【他2件(住民税を上げないでほしいなど)】		
状 況 等	税制度は毎年度幅広く見直しが行われており、市町村の税制についてもこの一環として検討を加えられ、制度が改正されております。今後の市税制につきましては、国の税制改正等に影響される部分も大きいため、今の時点で明確な回答は困難な状況です。この点につきましてご理解のほどよろしく願いいたします。		
件 名	独身だからといって税金を高くとるな！		
状 況 等	<p>独身の方の税額が高いと思われる要素として、個人住民税を計算する際の扶養親族の有無による扶養控除の違いが考えられます。</p> <p>扶養控除は、納税者の皆さんの収入で生計を立てている扶養親族の人数(年齢や障害の有無などによって適用の有無や額が変わります。)によって控除額が変わる仕組みとなっております。</p> <p>なお、例えば既婚の方であっても、ご夫婦で所得がある場合で、それぞれ扶養親族がない場合は、扶養控除額が0円で計算させていただきます。</p> <p>その他、納税者の皆さんの状況に応じて所得額・所得控除額などには違いがありますので、個別の事例については、所得税については税務署、住民税については市税務課にお問い合わせください。</p>		

平成29年度 たきざわ幸福実感アンケート調査に関する自由意見への回答について(平成29年12月末時点)

部 名	企画総務部	課 名	企画政策課
件 名	<p>【総合計画について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「住民自治日本一」は、現在どのくらいの位置にあるのか？</li> <li>●地域や自然を自分たちで創り出しながら、幸福感を自ら創り出すことが重要。</li> <li>●他自治体と同じような施設を作るよりも、何か滝沢市独自の特化したアピールが必要では？</li> </ul>		
状 況 等	<p>滝沢市では、平成27年度から第1次滝沢市総合計画に基づく市政運営を進めており、計画期間内の目標として「幸福感を育む環境づくりの基盤づくり」を掲げています。そのための具体的な行動計画として、平成31年度までの4年間を計画期間とした前期基本計画を定めており、その中では市民の皆様が主体的に活動を行うための「地域別計画」と、行政がそれをサポートするための「市域全体計画」に分け、幸福感を育む環境づくりの基盤づくりを進めております。</p> <p>また、計画の策定にあたっては、滝沢市民の皆様が何に対して幸福を感じるのかという調査を行い、その結果として、「健康」「人とのつながり」「所得収入」が滝沢市民の幸福実感に重要な三大要素として捉えました。これは、新しい施設を作り続けるような、モノによる充足ではなく、人とのつながりに代表されるココロの充足による幸福の方が重要視されているということを表しています。</p> <p>ご意見に頂いたとおり、幸福感を創り出すには、市民の皆様が主体的に地域を創っていくこと、すなわち人とのつながりが必要不可欠であり、このことは非常に重要な点であると認識しています。これに関連し、第1次滝沢市総合計画においては、人とのつながりを通じた幸福感を育む行動の一例として、「幸福実感一覧表」を策定し、日々の生活から地域づくりまで、様々な場面において幸福感を育む一助として活用いただいております。</p> <p>また、「住民自治日本一」については、第1次滝沢市総合計画の中で「住民自らが住みよい地域を考え、思いやりと協力の気持ちを持ち、地域や仲間と関わることに『満足』と『幸福感』を日本一実感できるまち」と定義しております。</p> <p>これまでの市民の皆様のご取り組みによって、人とのつながりの中で幸福感を実感できている人を表す、「多くのふれあいの機会があり、人間関係が良好であると感じている人」「地域とつながっていると感じている人」といった指標は徐々に伸びを見せており、「住民自治日本一」に向けては、一定の進展をしているものと捉えております。</p> <p>市民の皆様におかれましては、第1次滝沢市総合計画の趣旨をご理解いただき、それぞれの地域別計画や幸福実感一覧表を参考として頂きながら、家族や仲間、そして地域といった「人とのつながり」を通じ、幸せを育んでいただきたいと思います。</p> <p>今後も引き続き、第1次滝沢市総合計画に基づく市政の推進にご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。</p>		
件 名	<p>【市制について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●市になっても良くなったと感じない</li> <li>●市になったことで何をどうしていきたいのか？</li> </ul>		
状 況 等	<p>市制を実施したことにより、一部事務における権限委譲がなされ、市が県を介さずに直接サービス提供することが出来るようになりました。このことにより、市民の皆様にも最も身近である健康福祉分野の一部において、より地域の実情に即したサービスを迅速に提供できるようになり、利便性の向上につなげています。</p> <p>また、村から市に変わったことにより、企業等をはじめとした市外からのイメージが都市的なものとなり、企業誘致の促進を通じた雇用増加にもつながってくるものと考えております。</p> <p>市制については、「市になったから自動的に何か良くなる」というものではなく、「このようなまちをつくらしていきたい」という市民の皆様のご想いを実現する一つの手段であり、またきっかけであると捉えることが肝要です。「住民自治日本一」に向け、市民の皆様が地域を創り、行政はそれを支えるといった形で、滝沢市として幸福感を育む環境づくりを推進してまいりたいと考えています。</p>		

平成29年度 たきざわ幸福実感アンケート調査に関する自由意見への回答について(平成29年12月末時点)

部 名	企画総務部	課 名	企画政策課
件 名	<p>【広報・ホームページについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 広報の内容を充実させてほしい。</li> <li>● 広報の発行回数が多い。</li> <li>● SNSやホームページも強化してほしい。</li> <li>● 広報にお金をかけすぎている。</li> </ul>		
状 況 等	<p>現在、広報たきざわは、1日と15日に毎月2回発行しています。1日は20ページを基本とし、市政の方針や事業など市民の皆様にお知らせしたい情報や興味を引く内容を掲載しています。15日は8ページを基本とし、翌月の世代別カレンダー(休日当番医や子どもの検診日程、いきいきサロンの日程など)を折り込んだ「お知らせ版」となっています。</p> <p>限られた紙面の中で、市としてお知らせしたい情報と市民の皆様が読みたい情報を融合させながら、読みやすく、かつ、分かりやすく提供するため、プロジェクトチームを設置し、広報紙に関するアンケート調査(平成27年度実施)の結果を踏まえ、広報紙をリニューアルいたしました。巻頭特集で市の魅力や政策などを分かりやすくお伝えしたり、たきざわインフォメーションのコーナーに市からの重要なお知らせを集約・整理したり、広報紙を読むきっかけづくりのための新コーナーを創設するなど様々な改善を行っております。</p> <p>今回のリニューアルでは、若い世代の読者を新たに取り込むことを目的に、表紙と裏表紙を毎号カラーにしています。代わりに中ページやお知らせ版をモノクロにすることで、標準的な広報紙一冊当たりの作成に係る費用はリニューアル前に比べ安くなっており、経費の削減にも努めているところです。</p> <p>広報たきざわの発行回数について、広報紙に関するアンケート調査(平成27年度実施)の結果、多くないと感じている割合が高く、現在のところは現行の発行回数が適切と捉えています。しかしながら、全国的には年12回とする自治体が7割を占めている現状もありますので、適切な発行回数について今後も検討を続けてまいります。</p> <p>限られた情報発信の機会をより有効に活用するため、広報紙の他、ホームページや回覧板、フェイスブックなど様々な手段を用い、今後も情報発信に一層努めてまいります。</p>		
件 名	<p>【アンケートについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● アンケートの意義について</li> <li>● 質問が多い、簡単にしてほしい、抽象的で分かりづらい</li> <li>● 設問(問6、問11(1))について</li> <li>● アンケートの返信用封筒に印字されている「180」という番号について</li> </ul>		
状 況 等	<p>アンケートの調査内容は、第1次滝沢市総合計画基本構想(平成27年度から平成34年度までの8年間)に掲げている「幸福実感一覧表」と「暮らしやすさ一覧表」をもとに設定しています。設問内容は、各年代や生活の各場面で幸福感を育むための行動例などについて、基本構想策定時に多くの市民の皆様が参加した検討において、滝沢の将来像を実現するための想いを表したものとして考えられたものです。アンケート調査により、市民の皆様が普段の生活でどのようなことを感じ、考えていらっしゃるかを定点観測し、基本構想に掲げる「幸福感を育む環境づくり」の進捗状況を測り分析することで、市民主体による地域づくりや市行政運営に活かしていくことを目的としています。</p> <p>設問6は、設問中「市では、限られた財源の中で行政サービスを維持するよう努めてまいります」のとおり、大前提としては、「行政サービスの充実と市民負担の削減」を目指して、今後も努めてまいります。一方で、行政サービスとそれに伴う市民の皆様負担水準については、随時見直していく必要があるため、お考えについてお聞きしているものです。設問11(1)は、引っ越し回数と地域でのコミュニケーションの取り方や地域の人たちへの信頼などについて分析をするため、お聞きしているものです。</p> <p>この他、アンケート返信用封筒の郵便番号の下に印字している「180」という番号は、郵便局で整理するためのもので全て同一の番号を用いており、個人を特定するものではありません。</p> <p>なお、アンケート結果については、広報たきざわ及び市ホームページで公表いたします。今後も引き続きアンケート調査を実施していく予定ですので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。</p>		

平成29年度 たきざわ幸福実感アンケート調査に関する自由意見への回答について(平成29年12月末時点)

部 名 企画総務部		課 名 企画政策課
件 名	【施設整備等について】 ●ビッグループや滝沢中央小学校を建設する必要性 ●無駄な施設は作らず、財政状況に相応しい施設建設等に配慮を ●ハード整備による行政サービスの低下の懸念	
状 況 等	<p>今後の少子高齢化社会の急速な進展を考えた場合、本市にとっても人口減少対策が喫緊の課題であり、そのためには子育て世代への支援とともに、転入・定住を促すための「人とのつながり」や「人とのふれあい」の場の創出が重要と捉えています。</p> <p>滝沢中央小学校やビッグループの建設は、こうした未来を担う子ども達の教育環境の整備、様々な世代の市民が交流し、「ヒト」や「モノ」が活発に行きかうことでの交流人口の拡大、地域経済の活性化等、本市の中長期的な発展を考える上で、必要不可欠な施設であると考えています。</p> <p>一方で、限られた財源の中で、市民のセーフティネットにかかる行政サービスの確実な実施のため、引き続き公共が担う生活の最低水準及び生活環境基準を各分野で明らかにしながら、市民の皆様とともに「幸福感を育む環境づくり」を目指して取り組んでまいります。</p>	
件 名	【広域連携・地方創生】 ●市になっても盛岡のベッドタウンだけのイメージしかない。 ●少子高齢社会の展望を知りたい ●他の地域の人にアピールできる場所が少ない。	
状 況 等	<p>滝沢市は、その地理的及び文化的要件から古くから盛岡市との密接な関係にあり、現在でも市民の通勤・通学をはじめ、事業活動においても一体性を有しています。盛岡市をはじめとする「盛岡広域都市圏」を構成する各市町とは、これからもあらゆる分野で連携・協力し、一体的な発展と住民福祉の向上を図る必要があります。</p> <p>そのなかでも、本市の特徴である「大学・研究機関等の集積」を活かし、盛岡広域都市圏におけるICT関連産業の拠点形成、研究学園都市としての役割を担う“まち”を目指して、様々な取組を進めています。</p>	
件 名	【その他ご意見などについて】	
状 況 等	<p>市の将来へ向けた多くのご提言やご意見をいただき、ありがとうございました。滝沢市に住んでいる皆様からの貴重な「想い」と考えております。</p> <p>いただいたご提言やご意見は職員間で共有し、滝沢市がより住みよいところとなるよう、取り組んでまいります。</p>	

平成29年度 たきざわ幸福実感アンケート調査に関する自由意見への回答について(平成29年12月末時点)

**部課名等** 議会事務局 **課名** 議事総務課

件名	・市政をしっかりやってほしい(議員) ・滝沢市は今後どういう風にしたいのか、中心街がない、商店街もない。他県から来た人に何も無い市ですねと言われ恥ずかしい思いをした。市長・議員と一緒に議論してほしい。
状況等	地方分権が進み、これからは「市長」と「議員」だけではなく、自治の主体である「市民」とともに話し合い、まちづくりを進めていく必要があります。市議会といたしましては、議会報告会や市民懇談会など市民との意見交換の場を大切にし、これからも市民の意見を踏まえた監視機能と立法機能を十分に発揮し、市民福祉の向上に努めてまいります。

**部課名等** 農業委員会事務局

件名	農耕地の転用を解除推進してほしい。
状況等	農地の転用手続き、許可基準等は農地法で定められていますので、市独自の判断で農地の転用を行うことはできないものとなっております。農地は食料の安定供給に欠かせないものであり、現在および将来の限られた国民の資源であるため、法律で無秩序な農地の転用を規制されているものです。なお、農地転用に関連する法律は農地法以外に、農振法(農業振興地域の整備に関する法律)、都市計画法がありますので、それぞれの法律に整合しなければ農地転用はできないものとなっております。

件名	休耕田や畑の草取りの手入れをしないので、雑草が伸び視界が悪くなります。手入れをするように市からもお願いしたいです。
状況等	農業委員会としては、市内全域の農地パトロールの実施及び農地所有者からの意向調査を行い、遊休化している農地、低利用の農地について、適正な管理に向けて取り組んでいます。併せて、農業者の高齢化等に伴い、農地を十分に管理することができない農業者の方を対象に、規模を拡大したい農業者への農地の貸借を進めています。

件名	農業委員会は上の意向のままなので不要であり、廃止すべき。事務局は事の是非を委員に伝えていない。
状況等	農業委員会の活動は国の制度に基づき、農地の貸借・売買許可、農地転用の意見決定、各種証明事務、農地に係る相談、農業者年金事務などを行っています。これらの事務は農地法、農業委員会法で規定されておりますので現時点では、市の判断での農業委員会廃止は困難と思われます。また、農業委員会としての判断、決定については簡易なものを除き、農業委員が総会において、事案に対する可否の決定や意見の決定を行っています。それに伴い重要な案件については事前に小委員会で説明・協議を行うとともに、情報の共有にも努めております。

**部課名等** 選挙管理委員会事務局

件名	8月に滝沢に住所を移したが、投票できなかった。
状況等	選挙は、引越したあと(転入届を出した日から)3か月を過ぎなければ、引越し先で投票をすることができない仕組みとなっております。このような場合、「不在者投票」の手続きをすることで、引越し先で投票をすることができます。投票できる場所が新住所か旧住所か分かりづらい場合は、選挙管理委員会に確認をお願いします。

件名	投票場所まで行くのが困難な人(障がい者や高齢者)も投票できるようにしてほしい。
状況等	障がいなどのため、投票所まで行くことが困難な人は、あらかじめ手続をしておくことで郵便による投票ができます。郵便等による不在者投票は、身体障害者手帳か戦傷病者手帳をお持ちの選挙人で、両下肢、体幹等に障がいがある人又は介護保険の被保険者証の要介護状態区分が「要介護5」の人に認められています。また、ご自分で投票用紙に記載できない場合は、代理人による投票も可能です。

## 平成29年度 たきざわ幸福実感アンケート 自由意見集計表

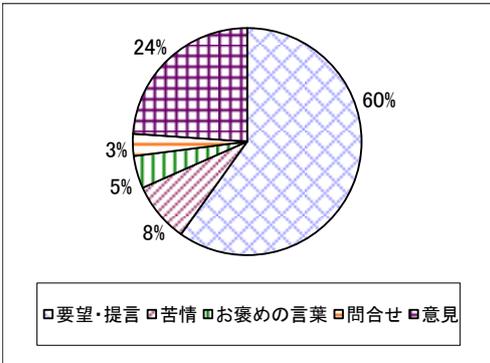
### ■自由意見記載票数

	件数	前年度	比較	
記載者数	341	351	-10	97.2%
件数	540	538	2	100.4%

※一帳票で複数の意見を記載する場合がありますため、回答者数と件数は一致しません。

### ■種類区分

名称	件数	前年度	比較
要望・提言	323	332	-9
苦情	46	42	4
お褒めの言葉	25	19	6
問合せ	17	7	10
意見	129	138	-9



※所管区分について

今回から組織改編により下記内容のとおり区分し集計をしています。

H28年度	H29年度
東部出張所・勤労青少年ホーム	東部出張所・葉の木沢山活動センター
都市計画課	都市政策課
交通政策課	
水道経営課	水道総務課
生涯学習文化課・埋蔵文化財センター・公民館・図書館	文化振興課・埋蔵文化財センター・図書館
スポーツ推進課・国体推進室	生涯学習スポーツ課

### ■所管区分

名称	件数	前年度	比較
地域づくり推進課	41	32	9
防災防犯課	26	29	-3
環境課・滝沢平石環境組合・盛岡地区衛生処理組合	23	18	5
市民課	2	3	-1
東部出張所・葉の木沢山活動センター	1	0	1
地域福祉課	7	3	4
生活福祉課	2	0	2
児童福祉課	19	23	-4
高齢者支援課	20	16	4
地域包括支援センター	4	1	3
健康推進課	7	13	-6
保険年金課	11	7	4
商工観光課	9	19	-10
企業振興課	15	11	4
農林課	8	5	3
都市政策課	66	55	11
道路課	69	83	-14
河川課	2	1	1
水道総務課	3	0	3
水道整備課	5	4	1
下水道課	12	13	-1
簡易水道室	0	0	0
教育総務課	5	14	-9
学校教育指導課	9	3	6
学校給食センター	1	0	1
文化振興課・埋蔵文化財センター・図書館	3	9	-6
生涯学習スポーツ課	13	7	6
総務課	21	36	-15
企画政策課	108	107	1
情報システム課	0	0	0
財務課	13	16	-3
税務課	7	5	2
収納課	0	1	-1
会計課	0	0	0
議会事務局（議事総務課）	2	3	-1
監査委員事務局	0	0	0
農業委員会事務局	3	0	3
選挙管理委員会事務局	3	1	2

### ■内容

名称	件数	前年度	比較
地域・交流	23	16	7
防災	4	5	-1
防災行政無線	5	9	-4
防犯・街路灯・交通安全	19	16	3
環境（住環境）	5	8	-3
ごみ	18	6	12
医療・医療費	10	12	-2
子育て	18	18	0
高齢者福祉	24	8	16
健康・検診など	7	4	3
その他福祉	10	4	6
産業振興（全体的）	0	2	-2
雇用・企業誘致	14	12	2
観光	6	15	-9
特産品	2	0	2
商業	0	2	-2
農業	10	3	7
都市計画・土地利用	12	6	6
公園	7	10	-3
道路（整備・維持管理など）	32	31	1
歩道	3	7	-4
除雪	34	45	-11
交通網	46	37	9
河川	2	0	2
下水・上水	17	16	1
教育（小・中）	11	15	-4
芸術・文化・スポーツ	15	12	3
職員・市役所	25	38	-13
総合計画関連	11	6	5
市制	11	5	6
広聴・広報・HP	10	4	6
アンケート	31	41	-10
財政	5	7	-2
公共施設	25	39	-14
料金・手数料	6	2	4
税金	7	5	2
議会	2	3	-1
その他	53	63	-10